

令和4年度 事業報告書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ

1 事業実施の成果

2020年度から続くコロナウイルス感染症対策のなかで、ぼ・ぼ・らの管理運営を行った。来館者数等では回復傾向にあるが、コロナ以前と比べると3割程度減ったままであり、じわじわと後遺症のようなものが残っている。
 明るい見通しとして、コロナウイルスが5類に移行することにより、活動自粛等の閉塞感からの脱却や、様々な活動再開の兆しがある。
 リーグ事業としてはコロナ後の活動再開を見据え、コーディネーション力強化事業として自然環境活動分野の情報収集を始め情報発信体制の準備を実施した。
 一方、衰弱したネットワーク等(地域や経済団体、災害時等)との再構築や新規のつながりづくりも重要である。
 今後も感染防止策を継続して実施し、新型コロナの存在を前提にした上で、NPOらしい前向きな活動を模索していくことが求められる。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額
						(千円)
人材育成事業	ぼぼら市民活動大学校 (労務・ミッション・資金調達・活動計算書・コミュニケーション・地域協働推進員研修・コロナ対策)	6～2月	ぼ・ぼ・ら オンライン等	職員7名	11講座 受講者219名	5,420
	ぼぼら出前講座	4月～3月	県内	職員7名	20回 1293名	
	NPO等へのアドバイザー派遣	11月8日 2月10日	県内	職員3名	14名	
調査研究事業	栃木県内NPO等の活動の情報化支援に係るアンケート	12月6日～12月24日	県内	職員2名	県民等	39
団体支援事業	運営スタッフによる相談・コーディネート	通年	ぼぼら、県内	職員9名	県民等 375件	4,740
	専門家による相談・コーディネート	6月21日 9月14日	かぬま市民活動広場 足利市民活動センター	職員3名	NPO等担当者 延べ8団体	
	各種会議・研修等への協力・参加、	随時	事務所、ぼぼら	理事、職員	行政及びNPO等 が設置する会議等 計19回	
	寄付文化の醸成のための活動への協力	通年	ぼぼら とちぎボランティアネットワーク事務所 オンライン他	職員3名	社会貢献活動団体等 活動者等	
他団体、他部局との連携強化事業	通年(11回)	シルバー大学他	職員4名	県民等		
協働コーディネート事業	市町センターへのアウトリーチ支援	通年	ぼぼら・県内	職員7名	県内中間支援センター12か所の職員等	2,997
	市町センター運営組織のスタッフ情報交換会	通年(5回)	オンライン等	職員4名	中間支援センター職員等	
	災害ボランティア活動に係る連携促進	2月17日	ぼぼら、県内	職員2名	県民等	
政策提言事業	G7閣僚会合開催地CSOの情報交換会への参加	隔月	オンライン等	職員1名	国民等	39

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額
						(千円)
情報発信事業	センター情報誌の編集発行	8月 12月発行	ぼ・ぼ・ら他	職員8名	県民等 各3000部発行	4,966
	ホームページ・SNSの充実および改修に係る記事作成	通年	ぼ・ぼ・らHP ブログ・ Facebook	職員8名	県民等	
	メールマガジンの編集発行	年27回発行	ぼぼら	職員2名	登録団体等 833(登録者数)	
	NPO、ボランティア支援のための情報収集・提供、団体情報、及び活動情報等の展示	通年	ぼぼら	職員3名	センター利用者 13,990名	
	図書等資料の管理、貸出し	通年	ぼぼら	職員2名	センター利用者	
	イベント等への参加による広報・宣伝活動、マスコミへの働きかけ	通年	ぼぼら	職員3名	県民等	
	リーグファイルの編集発行	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	
社会貢献活動拠点の支援事業	安全管理及び省エネ化	通年	ぼぼら	職員7名	センター利用者 13,990名	2,272
	施設・機器・物品等の管理、利用団体の登録、各種利用受付、メールボックス・ロッカーの管理、施設利用のサービス提供	通年	ぼぼら	職員7名	センター利用者 13,990名	